

ベトナム社会主義共和国



ベトナム公安省へ消防用車両35台を寄贈

対象地域：パラグアイ消防隊

内容：水槽付ポンプ車12台、ポンプ車19台、水槽車1台、救助工作車2台、資機材搬送車1台 計35台
【東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、茨城県、愛知県、宮城県、石川県の団体・自治体より供出】

輸送過程：

2007年 6月 横浜港第一便出港 ハイフォン港入港(20台)
8月 横浜港第二便出港 ハイフォン港入港(14台)
9月 横浜港第三便出港 ハイフォン港入港(1台)
ハンドル付替え工事
11月 引渡しセレモニー

経済発展に期待！

ベトナムはBRICs(ブラジル、ロシア、インド、中国)の次に経済発展している国として、注目されています。ベトナム政府は、経済発展を急ぐとともに、市民生活の向上のため基礎インフラの整備、公共サービス等の充実に努めており、公安省では2010年までに消防車2600台を配備する計画をもち、その実現に向けて早急に機材の整備を進めています。日本から寄贈している車両は、既存の古くなった車両と入れられていることが多く、自己予算や地方自治体の補助金を受けて車両の購入することもあり、急成長している国の充実した様子が見えられます。

中古車両の輸入に厳しいベトナム

中古車両の輸入に関して、ベトナム運輸省が定めた安全性や環境保護の基準が設けられています。今回日本外交協会から35台の消防車両を寄贈することが決定し、整備・指定機関による検査を日本国内で行い、条件をクリアしたという証明を受けてから輸出しました。現地到着後、左ハンドルへの付替え工事が行われます。

現地での引渡しセレモニーに参加

車両全35台が現地に到着し、ハンドル付替え工事が完了した時期に、ベトナム公安省側の要請により、当協会の海外援助事業担当課長の寺田を派遣し、契約完了の確認および引渡しを行いました。引渡しセレモニーは2007年11月に公安省消防局にて行われ、その後車両が配備された各消防本部を訪問したりハンドル付替え工事を行っている整備工場への視察も行いました。



公安省消防局にて引渡し確認



消防本部会議室にて。町なかで利用しやすい日本のポンプ車が欲しいという要望があった。



タイ・ビン消防本部の方々と集合写真



ハノイ郊外にある公安省倉庫にて
配備を待つ車両



消防本部倉庫にて



ハンドルは左側に付替えられています。